



いがらし博文県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

野菜栽培農家の不安を代弁!

生産コスト縮減で収支改善へ

富里市選出の自民党、五十嵐博文(いがらし・ひろふみ)県議は、12月定例県議会議員1期目ながら本会議場で一般質問に早くも7回目の登壇を果たしました。この中で、農業問題では生産資材の相次ぐ値上げによる野菜栽培農家の不安を代弁し、森田知事に對しコスト縮減に対する県の

対応など厳しく迫りました。また、雨水排水対策に関連して大規模氾濫に伴う県による減災目標への取り組み姿勢や道路舗装と振動対策、都市計画の在り方など、専門的な知見を生かして県当局の姿勢をただしました。五十嵐県議の主な質疑を特集しました。

競争力強化支援法

五十嵐議員 国は平成29年5月に、農業競争力強化支援法を成立させ、国内需要の伸び悩みを受けて、農産物価格の引き上げ



本会議場に登壇した五十嵐県議

しかし、一方でポリ塩化ビニール等が平成29年価格から約5%値上げするなど、資材等の生産コストの上昇は、農業従事者にとっては大きな痛手であり、不安の声が聞こえています。そこで質問します。生産資材の値上げを踏まえ、コスト縮減に対し、国への働きかけと合わせ、県として今後、どのような取り組みを行っているのか。

森田知事 国は「農業競争力強化プログラム」の中で、生産資材価格の引き下げなどに取り組むこととしており、県ではこのプログラムを着実に進めるよう、全国知事会を通じて国へ要望しています。

また、県では土壌診断に基づく肥料の節減や、

野菜農家の収入改善

農業散布時期の適正化などの技術指導を行うとともに、燃焼効率の良い省エネ暖房機や、ハウスの保温効果を高める内張りカーテンの導入などを推進しています。

引き続き、肥料、農薬を効率的に利用する技術指導や省エネ機械の導入などにより、生産コストの縮減を支援してまいります。

五十嵐議員 県は野菜農家の収入改善に向け、どのような取り組みを行っているのか。

森田知事 農家の収入を増やすためには、品質の向上や収穫量の増加による生産力の強化や、マーケット需要に対応した出荷体制の構築による販売力の強化に取り組むことが重要と考えています。

このため、県では園芸用ハウスなど高品質な野菜を安定的に生産するために必要な施設の整備を進めるとともに、今年度からICTの活用により、ハウス内の環境を常に最適な状態に保ちながら、収穫量の増加を可能とする装置の導入をさらに促進するなど、野菜農家が収入を増やす取り組みを支援しています。

また、農協や卸売業者と販売方針を共有していく中で、販売店の大口需要などにも対応できるよう、規格や品質の統一による出荷ロツ

市街化調整区域 既存集落内の許可基準

五十嵐議員 既存宅地制度から見ると、開発行為等の基準に関する条例の第3条は、緩和的な措置も取れますが、県はどのようなことを想定し、制定に至ったのか。

都市整備局長 既存宅地制度では、市街化調整区域に指定された時点で、既に宅地化が図られている土地の建築行為について、都市計画法の許可が不要とされていますが、周辺環境にそぐわない施設の立地や雨水排水等の問題が多く発生し、平成12年の法改正に

より廃止され、新たな許可制度が創設されました。新たな許可制度では、市街化区域と一体的な日常生活圏を構成し、かつ概ね50戸以上の建築物が連なっている地域においては、積極的な公共投資が必要とされないことから許可の対象とされました。このため県では、この制度により一定範囲の既存集落内での開発は許可されるものと考え、国の運用指針を踏まえて、平成13年に「開発行為等の基準に関する条例」第3条に既存集落に関する許可基準を定めました。

す。そのためにも今後、県はどのようにしていくのか。

農林水産部長 県産農産物の評価を高めるためには、品質の向上を図り、消費者に認知してもらえる取り組みを、関係者が一体となり、進めることが必要です。

一例を挙げますと、現在、旬を迎えている「さつまいも」では、「定期間貯蔵すること」をルール化し、食味を向上させることで市場での評価が高まりました。

また、知事自らPRを行うトップセールスや首都圏の量販店において開催する千葉県フェアなどにより、県産農産物の魅力を直接消費者に伝えることでイメージアップを図ってまいります。

大規模氾濫に関する減災目標

逃げ遅れによる被害をなくせ！ 水害へ先進的な取り組みを提言



自席から発言を求めて挙手する五十嵐県議

り組むべき事項を取り組み方針として取りまとめたところだ。

県は、都川をはじめ15河川で「想定最大規模の洪水に対する浸水想定区域」の公表に向けた検討を行い、市町村は水害リスクの周知

水害リスクの周知

五十嵐議員 本県でも、水防災意識社会の再構築を目的に、平成29年に「千葉県大規模氾濫に関する減災対策協議会」を設立しています。本協議会では、利根川圏域をはじめ、5つの圏域に分割し、関係市町村参加のもと、平成33年度までに、逃げ遅れによる人的被害をなくすことなどを目標に、4つの柱を掲げ、達成に取り組んでいます。

そこで質問します。今年度の状況と合わせ、達成に向けた今後の取り組みはどうか。

県土整備部長 千葉県大規模氾濫に関する減災対策協議会では、今年3月に「逃

河川改修の考え方

五十嵐議員 今後の河川改修について、どのように考えているのか。

県土整備部長 県では、河川整備の実施に当たり、概ね30年から100年に一度発生する大雨に対応した長期的な河川整備の基本方針を定めています。

この基本方針に沿って、段階的な整備を行うため、時間50ミリ相当の降雨に対

げ遅れによる人的被害をなくす」などを目標に、今後概ね5カ年間で関係機関がそれぞれ、または、連携して取進めてまいります。

今後、関係機関との連携を図り、減災目標の達成に向け、各種取り組みを推進してまいります。

応じた河川整備の計画を定め、事業を実施しているところだ。

平成29年度末時点で、時間50ミリ相当の降雨に対応した河川の整備率は約6割となっており、残る区間の整備を進め、治水安全度の向上に努めてまいります。

要望 従来どおりの行政運営では、持続的な事業の執行も含め、今後更

に難しくなっています。いかに先進的な姿勢で臨むかが、千葉県のポテンシャルを更に活かす上で求められています。

従来の考え方にとらわれず、国の動向を注視するだけでなく、県が先進的に取り組んでいただくことを要望します。

舗装維持管理計画

五十嵐議員 県は昨年度から、舗装点検要領並びに修繕計画の両方を取り込んだ舗装維持管理計画の策定に着手しており、その取り組みを評価いたします。今後は特に、劣化要因の選定が、予測値の精度に影響することからも、きめ細かな選定により、精度の高い計画になることを期待します。

そこで質問します。舗装維持管理計画の現在の策定状況はどうか。

県土整備部長 県では、国が舗装点検要領を策定したことを踏まえ、効率的な維持管理を行うため、平成29年度から検討委員会を設置し、舗装維持管理計画の策定に取り組んでいます。

道路振動

五十嵐議員 県内における道路交通振動の状況はどうなっているのか。

環境生活部長 道路交通振動の測定については、市

道路舗装と振動対策

町村が行っていますが、その結果を取りまとめたところ、平成29年度に振動規正法に基づく限度を超過した地点はありませんでした。

一方、振動は人によって感じ方が大きく異なるものであり、大型車両の通行等による苦情が発生しています。

職員が現地で確認

五十嵐議員 道路交通振動に対する舗装の修繕について、どのように考えているのか。また、今後の対応はどうか。

県土整備部長 大型車などの通行に伴う、道路交通振動の対応については、現地で職員が確認を行い、舗装の修繕や段差の擦り付けなどの対策を実施しているところだ。

振動は、発生場所によりさまざまな要因があることから、原因の特定や修繕の実施に当たっては、補修を担当する職員の知識や経験が重要であると認識しています。

このため、振動発生の特徴や対策方法等について、講習や現場研修を行うなど、職員の技術力向上に努め、道路交通振動の低減に向け、引き続き取り組んでまいります。

要望 マンホールの設置は、部分的に掘

県内における道路交通振動に係る苦情件数は、平成26年度37件、27年度39件、28年度は54件となっています。

要望 道路交通振動の苦情は、増加傾向にあると思います。ぜひ、積極的な研修会等の実施を要望します。

●富里市と県政に関するご要望をお寄せください。

いがらし博文 県事務所

〒286-0221 富里市七栄646-759
TEL0476-90-2801 FAX0476-90-2802